

大 王 や し



発行所 台中日本人学校（台中市日僑学校） 電話 04-2567-2079

ホームページ <http://tjs.ehosting.com.tw/>

e-mail tjs97@ms18.hinet.net

FAX 04-2567-2085

校長室から 「みなさんの2学期のがんばりに拍手！！」

校長 原 宏次

2学期の成果を振り返って

8月19日に始まった2学期も、いよいよ本日終業式を迎えました。

2学期は1年間で最も長い学期であり、台中日本人学校で年間予定している授業日数のうち、およそ半分がこの学期に集まっています。その中で、みなさんは日々の教室での学習活動だけでなく、多くの行事にも熱心に取り組んでくれましたね。

2学期に行われた行事を振り返ると、実にさまざまな種類の行事がありました。その特徴をいくつかのグループに分けてみると、改めてその幅広さが感じられます。

① 自分と向き合い、力を高める行事

- ・ 水泳記録会
- ・ マラソン記録会

② 友だちと協力し、みんなで創り上げる行事

- ・ 学習発表会
- ・ 文化祭
- ・ 学部別校外学習
- ・ 小学部修学旅行
- ・ 宿泊学習（小4・5、中1）

③ 台湾の文化に触れ、人とのつながりを広げる行事

- ・ 新民短期留学
- ・ 汝鑾國小交流会
- ・ 大雅國中交流会
- ・ 十三寮地域学習

④ 新しい学びに出会い、自分を磨く行事

- ・ 社会科見学
- ・ 職場見学

こうして振り返ると、みなさんが2学期に幅広い経験を積み重ねてきたことがよくわかりますね。一つ一つの行事には、それぞれの目的や目標がありましたが、中には複数の目標を達成する行事もありました。

みなさんは、これらの行事を通して自分の力を試し、仲間と協力し、新しい発見をする中で、確かな成長を遂げてきました。この学期の経験は、みなさん一人一人の心と力を豊かにする大切な財産です。どうぞ自分のがんばりを誇りに思い、これからも新たな挑戦に向かって進んでいってくださいね。

3学期に向けて

1月6日から始まる3学期は、登校日数がわずか42日しかありません。特に小学6年生と中学3年生のみなさんにとっては、3月8日の卒業式まで、残り40日となります。この日数は、今日終えた2学期の半分にも満たない短さです。さらに、1月下旬には春節休暇もあり、生活や学習のリズムが崩れやすい学期でもありますね。

だからこそ、3学期を充実させるために大切なことは「始業式の日を万全に迎えること」です。生活のリズムを整え、学習への意欲をしっかりとって初日を迎えることで、3学期のスタートがスムーズになります。限られた1日1日を大切に過ごし、力を尽くして取り組めば、短い3学期でもきっと大きな成果を上げることができるでしょう。

明日からの冬休みは、楽しい時間がたくさん待っていることでしょう。しかし、このタイミングで2学期の学びや生活を振り返り、「2025年をどんな年にしたいか」じっくり考えてみてください。昔から「一年の計は元旦にあり」と言われるように、2025年のスタートを力強く切ることが、素晴らしい一年につながります。

3学期も一緒に頑張りましょう。みなさんのさらなる成長を楽しみにしています！

保護者のみなさまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。2学期は、学習発表会や文化祭、水泳記録会、マラソン記録会など、多くの行事を通じて子どもたちは大きく成長しました。こうした活動が実りあるものとなったのも、保護者のみなさまの温かいご支援のおかげです。

本当にありがとうございました。

新しい年、2025年がみなさまにとって、健やかで幸多き一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。そして、3学期も子どもたちが充実した学校生活を送り、笑顔いっぱい卒業・進級を迎えられるよう、教職員一同、全力で取り組んでまいります。

どうぞ良いお年をお迎えください。

◇◇◇派遣教員異動のお知らせ◇◇◇

文部科学省より本校派遣教員の異動について通知がありました。下記の3名が、令和7年3月末をもって帰国いたしますのでお知らせします。

帰国する教員に対しましては、これまで多大なるご支援ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

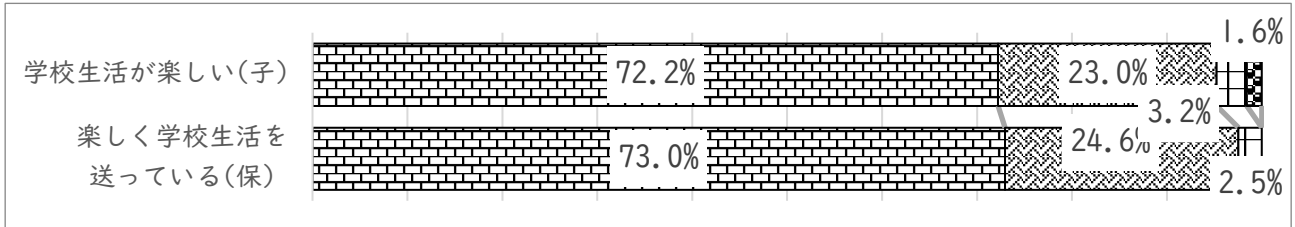
- 教諭 伊藤栄一郎 (佐賀県) 令和4年4月着任
- 教諭 御堂 大貴 (愛媛県) 令和4年4月着任
- 教諭 坂井 康良 (群馬県) 令和5年4月着任

学校生活・家庭生活アンケートの結果のお知らせ

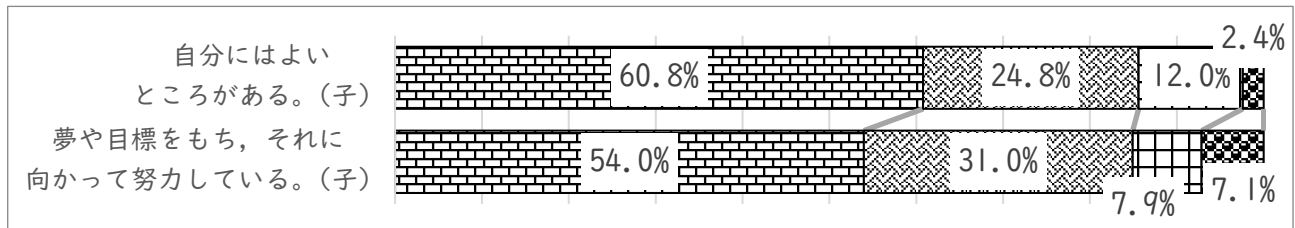
先日ご協力いただきました「学校生活・家庭生活アンケート」ならびに同時期児童生徒に実施しました「学校生活アンケート」の結果をお知らせいたします。

文中グラフの項目末尾に、(子)とついているのは児童生徒の回答を、(保)とついているのは保護者の回答を表しています。

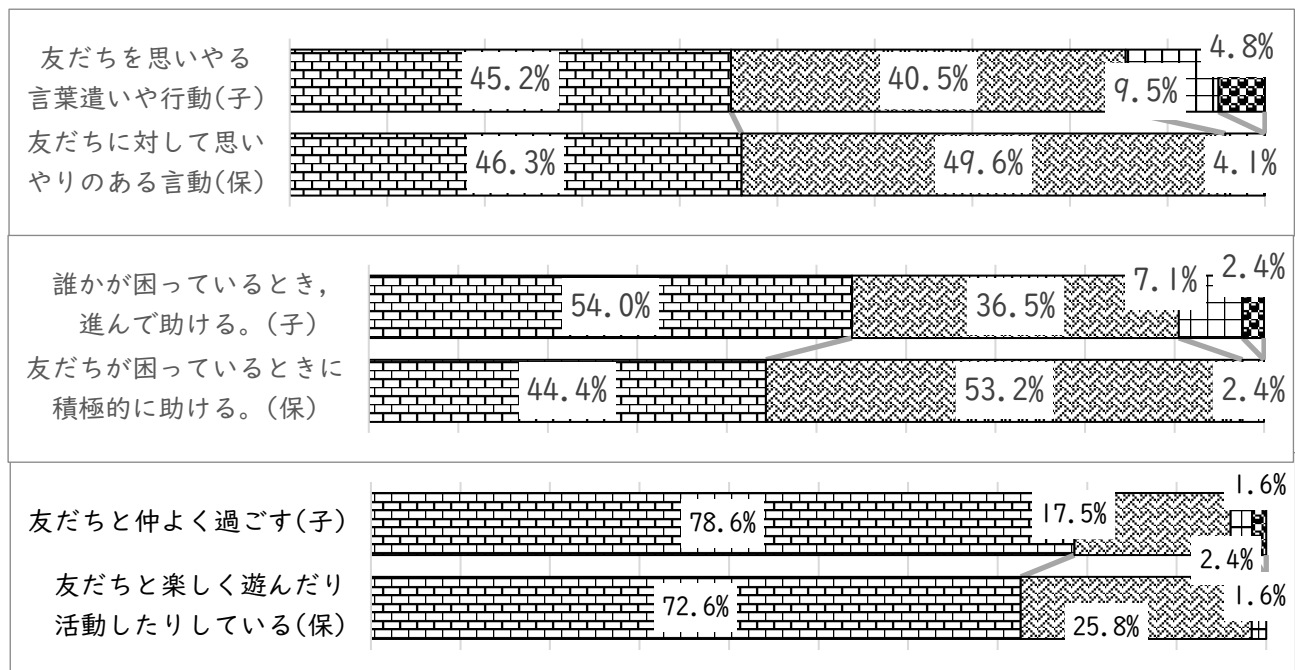
(回答項目左から「そう思う」「少しそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」)

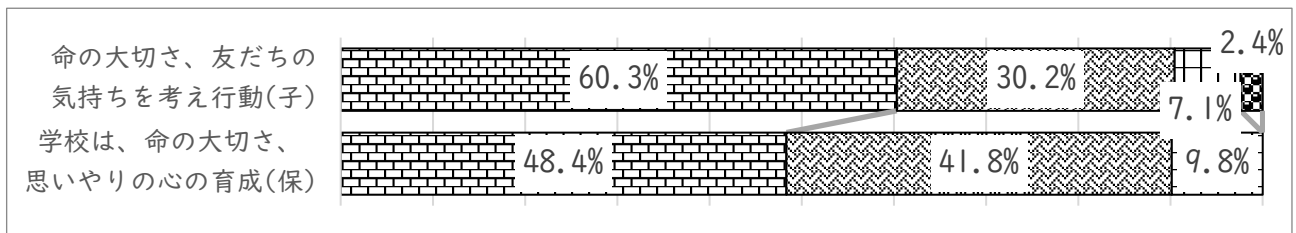


今回の調査では、子どもたちの95%、保護者の97%が「学校生活が楽しい」と回答しており、多くの方々に満足いただいていることがわかります。一方で、約5%の子どもたちが「楽しくない」と回答している点も見逃せません。この背景には、友人関係や学業、教師との関係など複数の要因が考えられるため、今後はこれらの原因をしっかりと把握し、改善に向けて取り組んでいきたいと思えます。この項目は特に学校運営において重要な指標と捉え、全員が「楽しい」と感じられる環境を目指して引き続き教育活動を推進していきます。



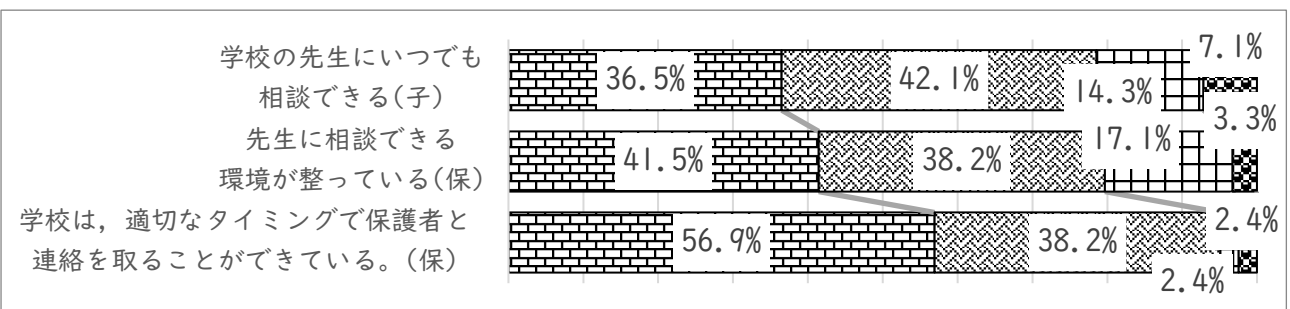
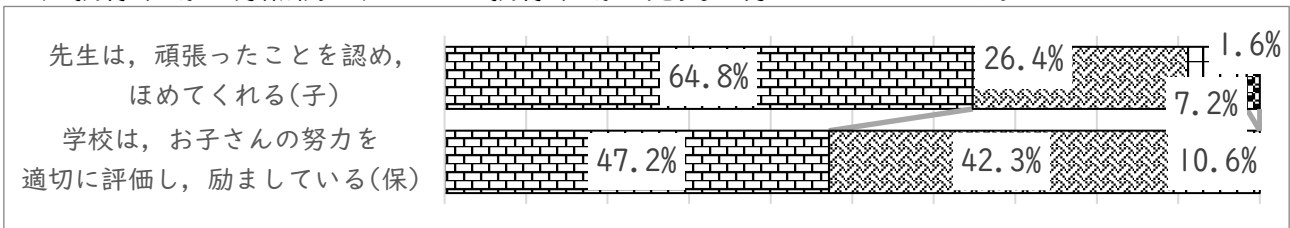
「自分にはよいところがある」については、85%の子どもたちが肯定的回答をしています。日本国内の平均が約82%ですので、本校の子どもたちは、「自分のよいところ」についてしっかりと捉えられている子どもが多いことがわかります。まだ「よいところ」を気付くことができていない子どもたちにも、日々のふりかえり活動を通して、一人一人の持っているよさに目を向けさせていきたいと思えます。





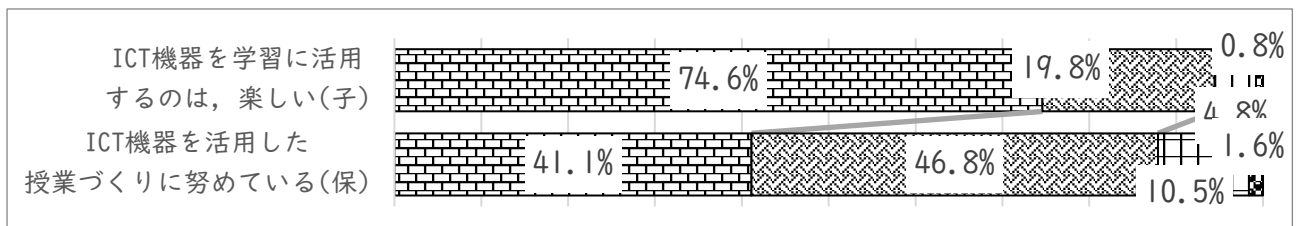
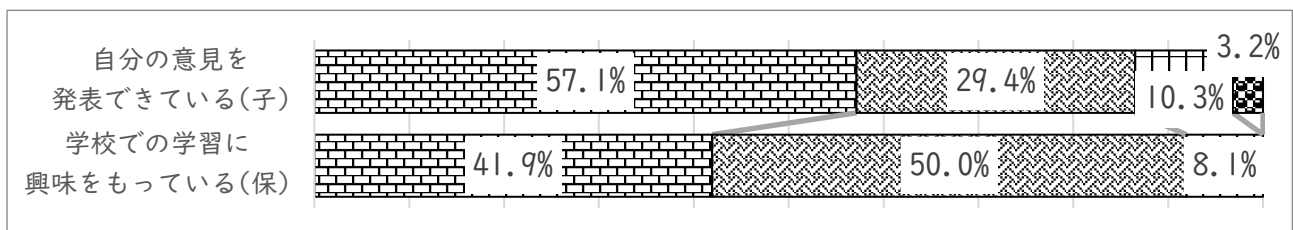
約96%の子どもたちが「友だちと仲良く過ごせている」と回答しました。この結果から、多くの子どもたちが友人との学校生活を楽しんでいることが分かります。ただし、「友だちを思いやる言葉遣いや行動ができていない」と回答した子どもが約14%おり、他者への配慮をさらに育むことが課題です。今後も思いやりの心情を育てる教育活動に力を入れてまいります。

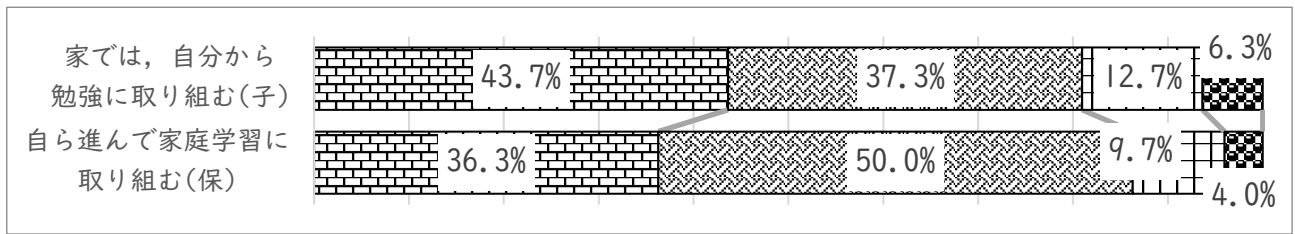
「学校が命の大切さや思いやりの心の育成」ができていないかの質問に対して、約10%の保護者の方が不十分であると回答しています。教育活動の基盤をなす大切な内容ですので、教育活動を再点検し、日々の教育活動の充実に努めてまいります。



多くの子どもたちが「先生は、頑張ったことを認め、ほめてくれる」と感じています。保護者の中には「適切に評価・励まされている」と感じていない方もいます。この点は、教師と子どもの関わりをより充実させる課題として捉え、引き続き、教育活動の中での適時性のある評価、賞賛をより一層心がけ、子どもたちの自己肯定感の向上にもつなげていきたいと考えます。

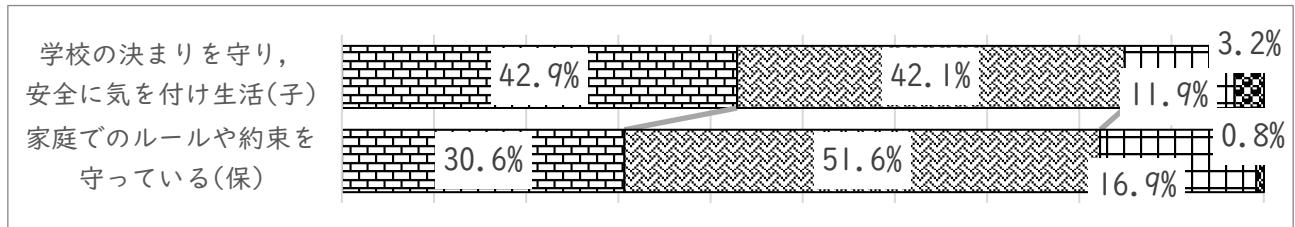
「相談しやすい環境」についての質問では、子ども・保護者ともに約20%が「相談しにくい」と回答しました。この結果は、5人に1人の子どもが悩みを相談できていない現状を示しており、今後はより相談しやすい環境づくりに取り組んでいきます。



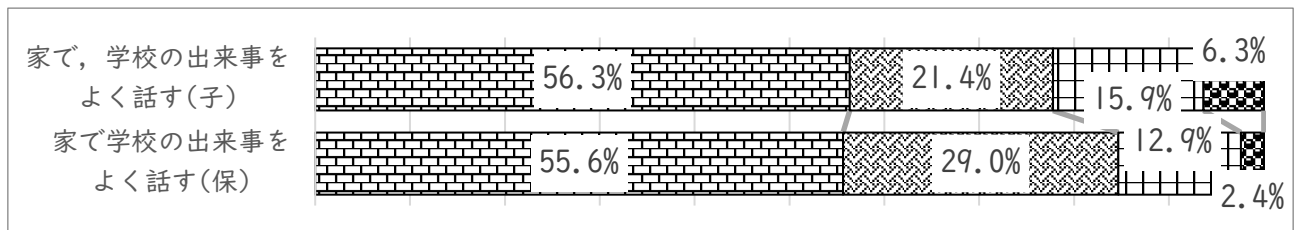


学習においては、「自分の意見を発表できている」という質問に肯定的に回答した子どもたちが約86%と非常に高い結果でした。最近求められている学力観として、「学習課題に対し、解決の見通しをもち、自力解決を経て、自分の考えを表現し、友だちの考えと練り合わせてよりよい解答を導き出す」というものがあります。ここで必要とされている力として、「自分の考えを表現する力」があります。このことは、発表者の努力はもちろんのこと、聞く側の学級の雰囲気も大切になってきます。引き続き、子どもたちの思考力・表現力を伸ばす学習活動を推進していきます。

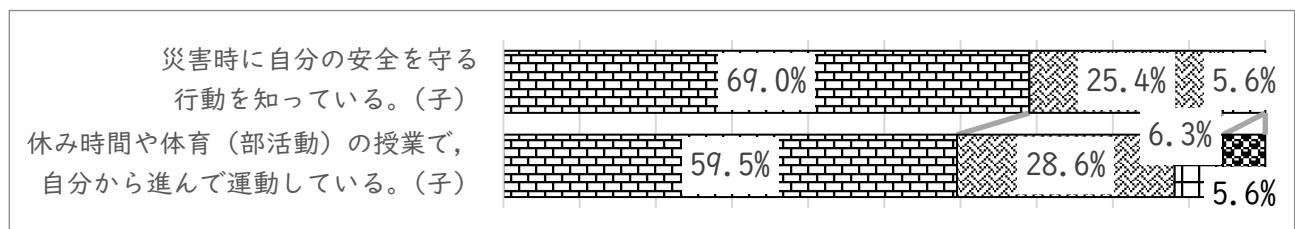
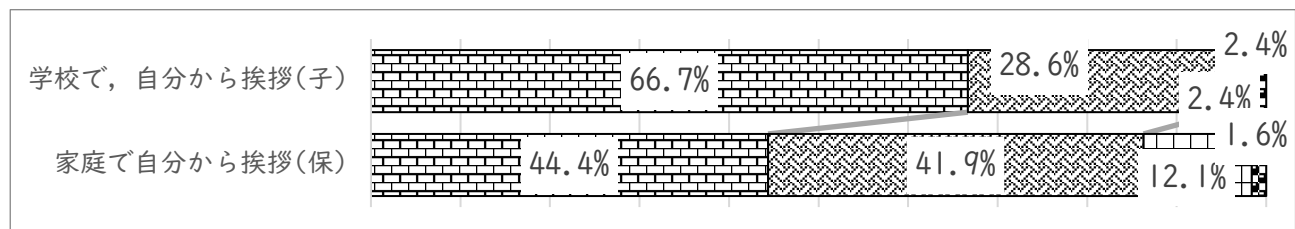
ただ、家庭学習への取組では、約20%の子どもたちが、積極的に取り組むことができていないようです。先月の「大王やし」に家庭学習について書かせていただきましたので、一度お子さんといっしょに読んで、アドバイスをいただければと思います。



学校と家庭の双方で、規律やルール、約束を守る理由について子どもたちに考えさせる機会を増やすことが重要です。



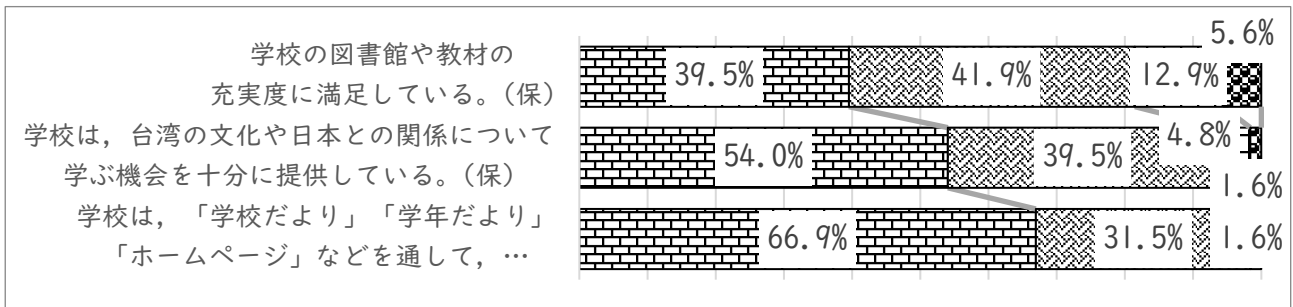
学年が上がってくると、少しずつ話す機会が減ってしまうようです。仕事や家事でお忙しい時に、話しかけてくることも多いかと思いますが、話を聞いていただける時間をとっていただきますようお願いいたします。



「あいさつ世界一」をかかげている台中校の子どもたちは、「自分からあいさつ」できているとの回答が大変多かったです。引き続き、「あいさつ世界一」をめざしてほしいと思います。

災害時の行動のしかたを身に付けている子どもたちがとても多いです。日頃の避難訓練に真剣に取り組んでいる成果です。また、今年は「防災 DAY」で学んだことも子どもたちの身に付いているように感じます。

約 88%の子どもたちが「進んで運動している」と回答しています。運動場が少し離れていることもあって、自分から体を動かすことができていると回答している子どもたちもいます。運動するのに適した季節になっていると思いますので、積極的に外遊びなどで、自分の好きな運動にチャレンジしてほしいと思います。



「図書館の充実度や教材」については、約 18%の保護者の方より「満足していない」という回答をいただきました。保護者の方への質問の中で「そう思わない」が最も多かったのもこの質問でした。ただ、日本の学習にあった教具や教材の中には、輸入が困難であったり、高額となったりするものもあり、また、ICT 関係教材のなかには、海外での使用を想定していないものもあったりと、様々な問題はありますが、学校設備を含めて、教材・教具、児童生徒用図書の計画的更新を進め、子どもたちにとっても保護者の方にとっても魅力のある学びの環境にしていきたいと考えています。

「台湾の文化や日本との関係を学ぶ機会」についても約 93%の保護者の方より肯定的な回答をいただきました。今後もより、小学 1 年～中学 3 年までの系統性のある教材を開発し、学習を深めていきたいと考えています。

「学校の様子を配信」につきましては、98%を超える方より肯定的回答をいただいています。これからも大王やし、学年だより、リニューアルしましたホームページなどを活用し、子どもたちのがんばっている様子を発信していきたいと思います。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回のアンケートでいただきました内容を学校教職員間はもちろん、学校運営委員会でも報告させていただき、今後の学校運営の貴重な資料とさせていただきます。

本校に通うすべての子どもたちが、「登校するのが楽しみで仕方ない学校」、保護者の方が「安心して通わせることのできる学校」をめざし、教育活動を推進していきます。引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

人権週間の取り組み

12月10日が何の日か知っていますか。この日は、世界人権宣言が出された日です。世界人権宣言とは、全ての人間が生まれながらに基本的人権をもっているということ、初めて公式に認めた宣言です。この宣言について、詩人の谷川俊太郎さんが簡単に説明しています。もしよければ、下のURL または QR コードからウェブサイトを開いてみてください。

さて、台中校では11月を「人権教育月間」とし、道徳の時間に「思いやり」「公正・公平・社会正義」「相互理解」について考えたり話し合ったりしました。今回は、各クラスの代表1名の感想を紹介します。



「二わの ことり」

やまがらさんのおたんじょうびいわいに、みそさざいさんがいくことができてよかったです。これから、ともだちがこまっていたら、「だいじょうぶ」とこえをかけたり、やさしくしたいとおもいました。

「雨ふり」

すきな人だけかさに入れるんじゃなくて、なかよしじゃない友だちも入れてあげることが勉強して、だれにでも同じたいどですることが大切だと知りました。今の自分はまだできていないこともあるから、今日からだれにたいしても同じたいどができるように頑張りたいです。

「よわむし太郎」

何があっても仲間のために、立ち向かって命を守ろうとしたり、みんなを安心させようとする人を強虫（心が強い人）というと思います。自分だけじゃなくみんなのことを考えることが大切だと思いました。

「つまらなかった」

インターネットを使うときは、声や表情が分からないし、「楽しくない」や「別にいいけど」などの言葉はどんな気持ちで言っているかも分かりにくいから、誤解されない伝え方や相手が嫌な気持ちになる言葉を使わないようにすることが大切だと思いました。

「ジェンダー平等」

今回の授業を通して、私は色についての思い込み（男は青、女は赤のような）があることに気が付きました。「当たり前なことだ」という考えで、人を傷つけないように気を付けて行きたいです。

「昼休みのコートで」

意見が合わない時は、みんなが納得する意見を考えることが大切だと思いました。この物語の洋と光太のように、お互いが納得する意見を新しくつくれば、相手と分かり合えるのではないかと思いました。

「いじめっ子の気持ち」

いじめをなくすためには、相手がどう思うかを考えることが重要だと思う。（自分がいいと思っても相手は嫌な気持ちかもしれない。）信頼している友達でもこの心構えをもつべきだと思う。また、互いに話し合うことで、いじめをしてしまった側、された側両者の考えや想いを理解することが大切だと思う。

「注文をまちがえる料理店」

認知症のスタッフさんたちは、間違えてもいいのかな、間違えた方がいいのかなあ、間違えたくないなあって複雑な気持ちで働くと思う。間違えないでその通りにやるということだけが正しいのではなく、間違えてしまってもいいんだよという温かい心が素敵な雰囲気をつくっているのだと感じた。

「無実の罪」

<もしも、ハッピーエンドで終わらなかったら、あなたならどうする？>

疑いの目をかけられるならずと家に引き籠もると思います。自分が言って解決できると思えないし、自分のことを信用してくれる子が現れないかなと思いながらも行動には移せない気がする。

ウェブサイト「わかりやすい世界人権宣言(谷川俊太郎訳)」

<https://www.amnesty.or.jp/lp/udhr/>

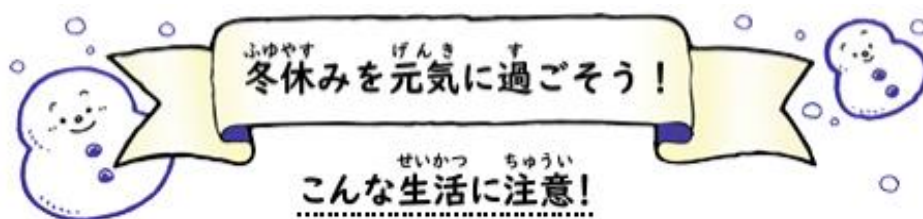




保健だより

台中日本人学校
保健室

冬休みには、クリスマスやお正月など、楽しい行事がたくさんあります。それにもなって、
ついつい夜遅くまで起きていたり、食べすぎたりして、生活リズムをくずしやすい時期です。健康
で楽しい冬休みを過ごすためにどのような生活を心がけるべきか考えましょう。



- 対策**
- 部屋の大掃除、家の手伝いをしてみよう!
 - 散歩や軽い運動を取り入れてみよう!

- 対策**
- ねる直前のテレビ・スマホ・ゲームはひかえよう!
 - 朝日を浴びて1日をスタートさせよう!

- 対策**
- 野菜もお肉もバランスよく食べよう!
 - 朝ごはんもしっかり食べよう!